

会長挨拶

丸森町姉妹都市交流協会 会長 船山雅弘

日頃より、本協会の運営につきましては会員の皆様からの御支援と御協力を賜り感謝申し上げます。また、姉妹都市交流事業を通じ、北海道北見市端野町とアメリカカリフォルニア州ヘメット市の多くの方々と友好関係を築き、深まりと広がりが見えてきていることは、会員の皆様の熱意の賜物と改めて実感しているところでございます。

さて、本協会の事業につきまして、先日6月4日に開催致しました総会では、全議案につきまして御承認いただきましたことを御報告申し上げます。なお、第5号議案の役員改選では、副会長として長年御尽力頂きました大河内今朝治副会長が御勇退され、船山和子理事が新副会長に就任されましたことも併せて御報告申し上げます。

当協会の今年度事業については、「ふるさと子ども交流事業の端野町派遣事業」がスタートしております。今年は例年にない27名の応募者があり、選考会を行い16名の訪問団員が決定しております。選考された子どもたちについては、今回端野町に行けなかった友達の思いも込めて、丸森町の代表として元気に有意義な研修を行ない、沢山の友達と思い出を作ってきてもらいたいと願っております。

更には8月8日から2泊3日で端野町の子供たちが丸森町を訪問しますので、子どもたちを中心にした受入事業を計画しております。会員の皆様におかれましては、何かと御協力をいただく機会もございますのでよろしくお願いいたします。

子供たちは丸森町の「宝」であり「力」でもあります。本協会の事業が丸森町の子どもたちを育み、将来の丸森を担う人材になっていただく一助となることを強く願い、今後も事業を推進して参ります。

最後に、当協会の目的が多くの町民の方に御理解いただき、「交流の輪」が広がるよう努力して参りますので、今後とも御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度 丸森町姉妹都市交流協会総会の報告について

船山会長を議長として下記の議案を審議頂き承認されました。

日時：平成26年6月4日（水）午後7時～

場所：役場3階 大会議室

議案の審議

- 第1号議案 平成25年度事業報告について
- 第2号議案 平成25年度収支決算報告について
- 第3号議案 平成26年度事業計画（案）について
- 第4号議案 平成26年度収支予算（案）について
- 第5号議案 役員の改選について



平成26年度総会の様子

ヘメット市親善訪問団 派遣事業 事業報告

平成26年3月25日～4月5日の12日間にわたり、アメリカのヘメット市へ10名(中学生8名、引率2名)の訪問団を派遣しました。今回の派遣先の学校ダートマス・ミドルスクールでは、プレゼンテーションで習字や箸など日本の文化を伝えてきました。

また、それぞれホームステイプログラムを行い、団員たちは慣れない英語を使いながらコミュニケーションを図り、友達をたくさん作り交流を深めてきました。ホームステイプログラムの他、ヘメット市内やユニバーサルスタジオ、グランドキャニオンなどを見学し、日程を無事に終了しました。



↑ロサンゼルス空港

ホームステイ先にて



↑グランドキャニオン
習字のプレゼン

ホストファミリーとお買いもの



箸のプレゼン



報告会で、配布された報告書



プレゼン発表
頑張りました



* 姉妹都市交流協会について *

当協会は、姉妹都市(友好都市を含みます。)との交流を通じて、教育・文化・スポーツ等の交流を行い、国外・国内を問わず相互の友好を深め、もって姉妹都市との友好を図るとともに、丸森町のまちづくり推進に寄与するために設置された団体です。

姉妹都市交流・国際交流に興味のある方ならどなたでもOKです。是非お知り合いの方にもお声掛けください。

会員特典として、会員が端野町を訪問した場合(旅行の際の立ち寄りも可)会員一人当たり5,000円を助成します。

(ただし、年間一人一回限りです。)

個人会員年会費:2,000円

法人会員年会費:8,000円

詳しくは、事務局までご連絡ください。

新規会員募集中

丸森町姉妹都市交流協会事務局

住所:宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120番地

(丸森町役場 企画財政課内)

電話:0224-72-3024 Fax:0224-72-1540

E-mail:kikaku@town.marumori.miyagi.jp

事務局長 栗野 由三

STAFF 長門 修・水上博一・安達 勉

菅野 寛・佐藤 歩

【編集後記】

先日ヘメット市親善訪問団の報告会が行われました。団員たちは、ヘメット市訪問中に体験入学先の中学校で習字や箸のプレゼンテーションを堂々と発表し、ホームステイ先でも充実した日々を過ごしてきたようです。

また、報告された内容には、食文化の違いなどの体験談や、「英語のイメージが難しいから楽しいに変わった」など成長した様子が分かる報告も多数ありました。

今年度の事業についても、子どもたちの将来の糧になるよう努めて参りますので、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。